第4回 東京湾沿岸海岸保全基本計画 (内湾・内房)に係る検討会

「第3回検討会(前回)での意見及び対応」

令和6年12月19日(木)

千葉県

第3回検討会（R6.8.7）での意見および今後の対応

第3回検討会での主なご意見は以下のとおりである。

No	発言者	ご意見	回答・対応方針
1	A委員	津波が来襲してくる方向は一定なのか。	(委員長) 津波を生じる断層の位置はある程度推定することができるため、津波が来襲する方向はおおよそ決めることができる。
2	B委員	九十九里を含む千葉東沿岸でも防護高が高い検討結果になっている。東京湾側では構造形式の変更は考えているか。	(事務局) 施設構造については、関係者、地元の意見などを踏まえ、状況に応じて検討していく。 (磯部委員長) 計算上では、打上高が高くなるのは3分の1から2分の1の勾配の施設であり、1/100勾配のような緩傾斜の施設では打上高が下がる傾向が想定される。将来の構造形式は工夫しながら検討するのが良い。

第3回検討会（R6.8.7）での意見および今後の対応

第3回検討会での主なご意見は以下のとおりである。

No	発言者	ご意見	回答・対応方針
3	C委員	海とともに生きてきた地域であることを踏まえ、今度の数字が基準となり整備が進むのであれば、地域の理解を得ながら進める必要がある。海面上昇や気候変動による影響は、万人の心配事なので適切な情報共有を図ってほしい。	（事務局） 地域の意見を聞く場として、必要に応じて海岸づくり会議を開いていく。
4	C委員	静岡県清水港の中心市街地地区に無堤地区がある。この度、防潮堤建設を踏まえた上で、利用・環境を考慮した整備（港湾緑地等）を地域住民、企業、商業施設他と行政と一緒に話し合いを重ねながら、居心地のよい、快適な緑地広場が整備された。多くの皆の協力により、新たな交流・観光スポットになる工夫ができるので、地元も積極的に取り組むことがよいと思う。	（事務局） 承知した。